



2022年6月13日

各 位

会 社 名 H E R O Z 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C o - C E O 林 隆 弘
(コード番号: 4382 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 森 博 也
(TEL 03-6435-2495)

(訂正・数値データ訂正) 「2022年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の
一部訂正について

2022年6月10日に発表した「2022年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」につきまして、一部訂正を要する箇所がございましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がございましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2022年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の発表後に、2023年4月期の業績予想について営業外収益の受取配当予想額の数値に誤りがあることが判明したため、関連する箇所の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所については、下線 を付して表示しております。
(経常利益・当期純利益の予想値及び対前期増減率と、1株当たり当期純利益の予想値について訂正しております)

・サマリー情報

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

【訂正前】

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	14.6	50	43.7	150	70.9	90	82.2	5.99

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却） 2023年4月通期（予想） 200百万円

【訂正後】

3. 2023年4月期の業績予想（2022年5月1日～2023年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	14.6	50	43.7	100	13.9	60	21.4	3.99

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却） 2023年4月通期（予想） 200百万円

・添付資料3ページ

1. 経営成績等の概況

（4）今後の見通し

【訂正前】

当社を取り巻く経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が引き続き懸念されるほか、ロシア・ウクライナ情勢等による不透明感が見られる中で金融資本市場の混乱等も懸念される場所ではあるものの、その一方で情報サービス業界においては、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした、デジタル技術を活用した業務プロセス・ビジネスモデル変革（DX：デジタルトランスフォーメーション）の需要拡大が引き続き見込まれるものと認識しております。

（中略）

以上の見通しを踏まえ、更なる企業価値の向上に向けて、人材採用強化や広告宣伝活動を機動的に行いつつ事業拡大に取り込むことを考慮した結果、2023年4月期の業績は、売上高1,700百万円（前期比14.6%増）、EBITDA200百万円（前期比5.9%増）、営業利益50百万円（前期比43.7%増）、経常利益150百万円（前期比70.9%増）、当期純利益90百万円（前期比82.2%増）を見込んでおります。

（以降は訂正なしのため省略）

【訂正後】

当社を取り巻く経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が引き続き懸念されるほか、ロシア・ウクライナ情勢等による不透明感が見られる中で金融資本市場の混乱等も懸念されるところではあるものの、その一方で情報サービス業界においては、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした、デジタル技術を活用した業務プロセス・ビジネスモデル変革（DX：デジタルトランスフォーメーション）の需要拡大が引き続き見込まれるものと認識しております。

（中略）

以上の見通しを踏まえ、更なる企業価値の向上に向けて、人材採用強化や広告宣伝活動を機動的に行いつつ事業拡大に取り込むことを考慮した結果、2023年4月期の業績は、売上高 1,700 百万円（前期比 14.6%増）、EBITDA 200 百万円（前期比 5.9%増）、営業利益 50 百万円（前期比 43.7%増）、経常利益 100 百万円（前期比 13.9%増）、当期純利益 60 百万円（前期比 21.4%増）を見込んでおります。

（以降は訂正なしのため省略）

以上